



## 尚綱大学 尚綱大学短期大学部

### 尚綱食育推進シンポジウム

令和7年1月19日(日)に第6回尚綱食育推進シンポジウムを開催しました。大学1号館10階ホールにおいて「子どもの未来を拓く保育・食育を目指して～保護者とともチームで取り組む食育～」をテーマに、対面とオンラインのハイブリッド方式で行いました。保育施設の園長、保育士、栄養士、学生等、約130名の方々に参加いただきました。参加者からは、「調理師として励みになった」「他園の取組が分かり良かった」「保育とはを考える時間となった」とのお声をいただき、大好評で終えることができました。



### 入学式

令和7年4月7日(月)に令和7年度尚綱大学・尚綱大学短期大学部入学式を尚綱アリーナにて挙行了いたしました。真新しいスーツに身を包んだ大学生162名(編入生18名含む)、短期大学部生129名の合計291名の新入生と保護者の方々が参加されました。山縣学長は、式辞で「皆さんの尚綱での4年間、2年間が充実したものとなり、社会が求める人材として成長し、これまでの卒業生が作ってこられた尚綱の歴史を引き継がれますことを強く願っています」と期待の言葉を述べました。式典後は、各学部・学科に分かれて入科式を行い、新入生は新たなスタートを切りました。



### 「くまモン学研究会2025」が開催されました

令和7年2月9日(日)、尚綱大学九品寺キャンパス7201講義室において、「2025年3月にデビュー15周年を迎えるくまモン。改めてくまモンのこれまでのブランディングや持続可能な展開について一緒に考えよう！」をテーマに、くまモン学研究会が開催されました。ブレイスブランディングの研究に取り組む九州産業大学の山下永子教授の基調講演に続いての4人の研究者とのセッション、後半はくまモンの育ての親である東京大学の蒲島郁夫フェローによる特別講義が行われました。続いて、熊本県のくまモントラッド化構想とOMO5熊本by星野リゾートとコラボした授業の成果としての学生たちのプレゼンテーションがあり、たくさんの参加者と共に創り上げられた研究会となりました。



©2010熊本県くまモン

### 尚綱子育て研究センター

#### 乳幼児保育研究会&保育Caféを開催しています！

令和7年度も、保育の質向上をめざし、現場の保育者の先生方との学びの場である「乳幼児保育研究会」を実施しています。園の先生方からの保育実践報告をもとに、子どもの豊かな育ち、明日の保育に繋げるために、議論を深め合っていきたいと思えます。また、研究会終了後は、「保育Café」を開催し、保育の悩みをざっくばらんに話し合う場を設けています。令和7年4月23日(水)に第1回乳幼児保育研究会を開催しました。保育アドバイザーの平田先生から、子どもの主体性を大切に保育について、今年度の保育をどう進めたら良いか、実践レポートの書き方について話がありました。保育者から一番遠くにいる子どもにまで届く保育、そして保育内容を選定して行けば、どの子どもも取りこぼさない保育になるはずだと話されました。第二報告は、尚綱子ども園の入江先生で、昨年度担任のクラスの実践を報告いただきました。

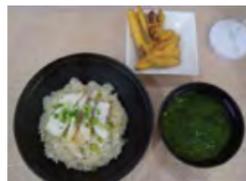
こうした子育て研究センターの事業については、学園のホームページや子育て研究センター紀要「児やらい」において随時報告していきます。



### 尚綱食育研究センター

#### 尚綱食育の日～お魚の日～を開催しました

6月19日は、「食育の日」です。本学では「食育の日」を周知することと魚食普及を目的に、学食にて郷土料理である「鯛めし・がね揚げ・あおさ汁」を特別メニューとして提供しました。この取組は、天草地区漁業士会のご支援を受け、今年で7回目の開催となります。今年は学食で50食提供しましたが、好評につき即完売となりました。さらに当日は、天草の漁業に関する展示を行いました。ご協力いただいた天草地区漁業士会・天草広域本部の皆様にご感謝申し上げます。



### 熊本マンガアニメフェスタ

令和7年5月5日(月)・6日(火)にJR熊本駅前で開催された「熊本マンガアニメフェスタ(通称:くままふ)」に、ジャンボくまモンといっしょにブースを出展しました。当日は、現代文化学部の学生たちがブースで自作の同人誌やグッズを展示・販売したほか、本学の取り組みの広報に加えて、令和7年7月12日(土)・13日(日)開催予定の本学園祭および「尚綱コミックイベント」のご案内も行いました。また、ブースの出展だけではなく、多くの現代文化学部の在学生が運営ボランティアやコスプレイヤー、カメラマンとしても参加しており、学生たちはさまざまな形でイベントを大いに楽しんでいました。本学のブースにお立ち寄りくださったみなさま、本当にありがとうございました！



### 尚綱大学「やってみよう！管理栄養士」を実施しました

令和6年12月15日(日)、生活科学部は県内の高校生を対象に「やってみよう！管理栄養士」を開催しました。このイベントは、体験を通して、管理栄養士の仕事ややりがいについて理解を深めていただくもので、令和6年度は、高校生28名の参加がありました。前半は、「スポーツ栄養学」と「アスリート向け補食をつくらう」の二つの体験講座を実施しました。本学教員からスポーツ栄養学と補食について講義を受けた後、スポーツ栄養サークルの大学生と一緒にスポーツ時の補食としてのおむすび(むね肉とわかめのおにぎり・あさりの鉄分おにぎり)をつくって試食しました。高校生からは、「あまり食べたことのないあさりを使ったおにぎりを作って食べたことが印象的だった」「実際に作ることで楽しかった」などの感想がありました。また後半では、社会で活躍している本学OG2名から「保健所の管理栄養士」「プロアスリートを支える管理栄養士」について、具体的な業務内容や管理栄養士を目指したきっかけなどの講話がありました。「やりがいを感じられる職業だと思った」「在校生との交流ができて良かった」など、参加者にとって管理栄養士の仕事を理解する有意義な体験イベントになりました。管理栄養士の仕事に興味を持っているけれども、具体的な仕事の内容ややりがいについて知りたいという高校生に向けて、令和7年度も「やってみよう！管理栄養士」を実施する予定です。



### 尚綱大学 親子バレンタインクッキング教室～大豆ミートを使ったお菓子～

令和7年2月11日(火・祝)に生活科学部で親子バレンタインクッキング教室を開催しました。当日は、近隣の小学校から親子20組、計40名の参加があり、大学生と一緒に楽しくバレンタインのお菓子作りに挑戦しました。今回のメニューは、熊本県の食品企業が製造する大豆ミートを使った、おいしいチョコレート菓子「チョコクランチ」と「チョコブラウニー」です。出来上がったお菓子は、自分や家族の方へのプレゼントとして、箱に詰めて持ち帰りました。参加者からは、「とても楽しかった。また参加したい」「お姉さんに丁寧に教えてもらいながら、お友達とお菓子作りができて、貴重な体験となりました」「大豆ミートを取り入れた料理を親子で作りたいと思いました。また参加したいです」など、たくさんの嬉しい感想をいただきました。生活科学部では、令和7年度も親子での楽しい料理教室を企画します。たくさんの参加をお待ちしています。



### 学生がつなぐ日韓の架け橋！こども教育学部の国際交流

こども教育学部では、グローバルな視野を育むため、韓国の大学との国際交流を積極的に進めています。令和6年9月には、1・2年生11名が鄭英美教授とともに釜山大学および仁済大学を訪問し、現地の学生とボードゲームやキャンパスツアー、附属幼稚園訪問などを通じて交流を深めました。さらに、11月には釜山大学幼児教育学科との正式なMOU(学術交流協定)を締結し、今後の安定的な学生交流と教職員の共同研究の基盤を築きました。一方、令和6年7月には仁済大学の学生5名と教員1名を、令和7年1月には釜山大学から学生11名と教員1名を受け入れ、本学学生とともに授業参観、文化体験、保育現場の見学を実施。異文化理解と国際的な感覚を育む貴重な学びの場となりました。

